

砂防

# ふくしま

第20号

福島県砂防協会機関誌

北塩原村立裏磐梯小学校5年

成瀬なるせ

楓香ふうかさん



砂防部長賞(小学生ポスターの部)

平成20年度「土砂災害防止」に関する絵画・ポスター・作文コンクール



みんなで防ごう土砂災害

土砂災害防止月間

6/1→30

がけ崩れ防災週間 6/1▶7

## CONTENTS

福島県砂防協会会長あいさつ	2
平成20年度「土砂災害防止」に関する絵画・ポスター・作文コンクール受賞作品	2
平成20年度「土砂災害防止」に関する絵画・ポスター・作文コンクール受賞作品 絵画・版画の部	3
平成20年度「土砂災害防止」に関する絵画・ポスター・作文コンクール受賞作品 ポスターの部	4
平成20年度「土砂災害防止」に関する絵画・ポスター・作文コンクール受賞作品 作文の部	5
「ふるさと安全たんけんスクール」の取り組み	7
全国治水砂防協会促進大会が実施されました	8



雪崩防災週間

12月1日→7日

# 福島県砂防協会長あいさつ



福島県砂防協会長  
只見町長 目黒 吉久

会員の皆様には、ますます御清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、この度小沼前会長にかわりまして、福島県砂防協会長に就任した只見町長の目黒でございます。

昨年は岩手・宮城内陸地震、岩手県沿岸北部地震と2度の大きな地震が発生し、土砂災害の恐ろしさを改めて認識しました。被害を受けられた方々に心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

さて、本協会の重要な事業活動として土砂災害防止に関する啓発活動を実施しておりますが、この一環として国土交通省と県が毎年6月に実施している「土砂災害防止」に関する絵画・ポスター・作文コンクールの作品募集で小・中学生から多くの作品が寄せられました。厳正な審査の結果、成瀬楓香さん(北塩原村立裏磐梯小学校5年)及び山本優美さん(石川町立石川中学校2年)の砂防部長賞をはじめ、多くの作品が受賞されました。

本年度の作品も、土砂災害から身を守るために日頃からの備えと注意すべき心構えについて、広く啓発するものとなっております。受賞された皆様に対し心からお祝い申し上げます。

本協会といたしましても、応募された作品と同様に、啓発活動に務めてまいりたいと考えておりますので、引き続き会員の皆様と関係機関の格段の御協力をお願い申し上げます。

## 平成20年度「土砂災害防止」に関する 絵画・ポスター・作文コンクール受賞作品

国土交通省と福島県では、土石流・地すべり・がけ崩れ等の土砂災害から、かけがえのない生命と財産を守るため、毎年6月を「土砂災害防止月間」と定め、土砂災害防止に関して地域の皆様の御理解と御協力をいただくために様々な行事を行っております。

この行事の一環として、明日を担う小・中学生を対象に「土砂災害防止」に関する絵画・ポスター・作文コンクールが行われました。

本県においては、多くの応募の中から13作品が福島県砂防協会長賞に選ばれ、そのうち6作品が中央審査会に推薦されました。審査の結果、成瀬 楓香さん(北塩原村立裏磐梯小学校5年)及び山本 優美さん(石川町立石川中学校2年)(ポスターの部)の2名の方が砂防部長賞に選ばれました。ここに受賞された方の作品を御紹介します。

### 平成20年度「土砂災害防止」に関する絵画・ポスター・作文コンクール作品応募状況等

区 分	福島県内応募数				全国応募数	
	うち 福島県 砂防協会長賞	うち 中央審査への 推薦数	うち 砂防 部長賞	うち優秀賞受賞者数(※1)		
絵画	小学生	24	3	1	969	大臣賞=1、次官賞=3、部長賞=12
	中学生	15	該当なし	該当なし	393	大臣賞=1、次官賞=3、部長賞=11
ポスター	小学生	30	3	1	1,370	大臣賞=1、次官賞=3、部長賞=12
	中学生	33	4	2	1,626	大臣賞=1、次官賞=3、部長賞=12
作文	小学生	3	2	1	281	大臣賞=1、次官賞=3、部長賞=12
	中学生	8	1	1	698	大臣賞=1、次官賞=3、部長賞=11
計	小学生	57	8	3	2,620	大臣賞=3、次官賞=9、部長賞=32
	中学生	56	5	3	2,717	大臣賞=3、次官賞=9、部長賞=32
総計		113	13	6	5,337	大臣賞=6、次官賞=18、部長賞=64

(※1)大臣賞は国土交通大臣賞、次官賞は国土交通事務次官賞、部長賞は砂防部長賞

# 平成20年「土砂災害防止」に関する 絵画・ポスター・作文コンクール受賞作品

絵画・版画  
の部



賞 福島県砂防協会会長賞  
大熊町立熊町小学校5年  
しんどう すぐる  
新道 英さん

賞 福島県砂防協会会長賞  
北塩原村立裏磐梯小学校5年  
かなざわ りょう  
金澤 亮さん



賞 福島県砂防協会会長賞  
北塩原村立裏磐梯小学校5年  
おぐら ともか  
小椋 友香さん

平成20年「土砂災害防止」に関する  
絵画・ポスター・作文コンクール受賞作品

ポスター  
の部



**賞** 砂防部長賞  
北塩原村立裏磐梯小学校5年  
なるせ ふうか  
**成瀬 楓香さん**



**賞** 砂防部長賞  
石川町立石川中学校2年  
やまもと ゆうみ  
**山本 優美さん**



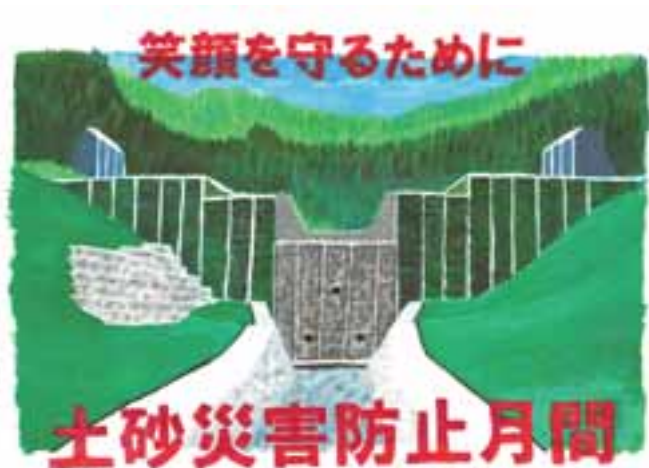
**賞** 福島県砂防協会会長賞  
郡山市立行徳小学校4年  
すずき むげん  
**鈴木 無限さん**



**賞** 福島県砂防協会会長賞  
会津坂下町立坂下小学校5年  
いがらし  
**五十嵐 まりあさん**



**賞** 福島県砂防協会会長賞  
郡山市立富田中学校2年  
みどりかわ か な こ  
**緑川 可那子さん**



福島県砂防協会会長賞

福島大学附属中学校1年  
ふくはら しょうご

福原 祥子さん



福島県砂防協会会長賞

相馬市立向陽中学校1年  
おおつき こうた

大槻 幸汰さん

## 平成20年「土砂災害防止」に関する 絵画・ポスター・作文コンクール受賞作品

## 作文 の部



福島県砂防協会会長賞

「岩手宮城地しんに思う」

矢吹町立三神小学校 六年  
こんない しょうた

近内 翔太さん

テレビから土砂でうまった家の様子が流れてきました。どこだろうと思って見ていると、岩手の方でした。土砂に埋まってまだ見つからない人もいます。しんど五強くらいの地しんがあって、ひ害にあったそうです。何人も人がなくなったようです。家がつぶれたり、家の中がめちゃめちゃになったりしている様子が流れてきました。家にあった大切なものや食料などは、どうなってしまったのだろう。食べ物がなくなったらどうしてしまうのだろう。テレビを見ながら悲しくなってきました。でも、一番悲しいのは、ひ害にあった人たちです。家族をなくした人の悲しみは、どんなに大きいことかと思えます。自分だけ生き残っても、家族のどれかがなくなったら、とても悲しいと思えます。

また次の日も、そのニュースを見ました。体育館でひなんしている人たちの様子が映し出されました。食べているのは、おにぎりでした。おかずがないなんてぜいたくは言えないんだと思えました。記者がインタビューすると、自分の子供をなくした人が、

「なぜ子供のことを守ってやれなかったのか。」

「なぜ自分だけ生きているのか」

と泣きながら答えていました。なみだを流している人がいっぱいでした。大人の人は、やっぱり子どもが大切なんだなあと思えました。泣いている人が多くて、なんだかぼくもなみだがこぼれそうになりました。今までの地しんのひ害をテレビで見て、この地しんが一番悲しいさい害でし

た。ぼくは、ひ害を起きたところで生きている人はすごいなあと思えました。なくなった人も、一生けん命生きのびようとしたけど、力つきてしまったのだと思います。なくなった人は、始めの大きなゆれにびっくりして、何もできなかったのだと思います。人生これからという人もなくなってしまったと思うと、悲しくてしかたありません。ぼくは、生きているということは、とても幸せなことなんだなあ、あらためて思いました。生きているということは、簡単なことではないということ、この地しんから知りました。今天国にいる人に伝えたいです。

「生きていることは大切なんだよ。」

ということを教えてくれて

「ありがとう。」

ということです。

ぼくが住んでいる福島は、宮城県や岩手県と近いので、気をつけたいなあと思えました。ぼくは、学校でやっているひなん訓練は、大切なんだなああらためて感じました。今までは、どうせ訓練なんだからと思っていましたが、やっていることは、命を守るために大事なことなんだと分かりました。きん急地しんそくほうを聞いたら、すぐに家族に机の下にもぐるように言います。そして、ゆれがおさまったら外に出て、広いところに行くようにします。落ち着いて行動することが大切です。地しんが起きたからといって、すぐに外に出るのはきけんなので、大きな物が落ちてきても大じょうぶなところにもぐればいと思います。特に小さい子どもがいる家族は、大人の人と一しょにもぐればいと思います。大きなゆれがきたら、落ち着いて行動したいと思います。ぼくは、この地しんをいつまでも忘れずに地震がきたら落ち着いて行動したいです。

さい害は、いつ起きるか分かりません。

「さい害は、忘れたころにやってくる」とも言われます。大切な命を守るために、この地しんで学んだことを生かしていきたいと思っています。



## 福島県砂防協会会長賞 「どしゃさいがいについて」

天栄村立広戸小学校 一年  
みずの ゆうと  
水野 雄斗さん

このまえのじしんのときに、おとうさんがさいがいはけんでいきました。おとうさんのはなしでは、どうろがいきなりなくなっているはなしをきいて、じぶんがあるいているどうろがめのまえからなくなったら、たいけんしたことがないのでわからないけど、すごこわいなとおもった。

このまえ、いえですいどうがちよっとしかでないときがありました。おかあさんにはなしをきくと、すいどうこうじのためすこししかでなかったとききました。おかあさんもすいどうこうじをやっていることをしらされていなかったみたいでおどろいていました。ぼくにとっていちばんびっくりしたことは、といれのみずがでなくなったことです。ぼくのいえでは、みずがすぐにでたけど、じしんがあったところではみずがでないから、といれがつか



えないし、みずものまないのでとてもかわいそうだなとおもった。

ぼくのいえのちかくでおおきなじしんがあったらどうしようかな。このまえのじしんのときは、ねむっていたのでわかりませんでした。ねむっているときにおつきいじしんがきたらおとうさんにおこしてもらってあぶなくないところにいこうとおもった。ほんとうにじしんはこわいなとおもった。



## 福島県砂防協会会長賞 「土砂災害の防止対策」

会津若松市立第一中学校 二年  
わたなべ みほ  
渡部 美穂さん

私は土砂災害にあったことがありません。あわない方が良いことは知っていますが、自然災害です。なので、起こってはしくなくても起こってしまいます。土砂災害での被害はたくさんあります。建物の被害がけっこうあります。家の中に砂や石や泥が入ってきてしまって中の物などがよごれてしまったりぬれてしまったりして壊れてしまったり使えなくなったり中にいる人などに被害がくわってしまったりしてすぐには前の生活にもどれなくなってしまったりします。後、建物が崩れてしまったりもする場合があります。そうってしまうと、前の家にもどれる人もいれどもどれなくて、新しい家が建つまで他の場所で過ごすという人や家を借りて住むという人もいるんじゃないかなあと思いました。その他にもいろいろな被害があると思いますが、どのような被害にしる、土砂災害にあったということはなんらかの被害にあったということなので、やっぱり防止対策を考えて行動をしなければいけないと思いました。

防止対策は考えたとしても行動しなければ意味がないのです。なので、土砂災害の防止対策はみんなが行なえたり協力して行なえたりする必要があります。なので、この防止対策はみんながそれがあることを知っている必要があります。なので、どのようなことができる物なのかも知っていなければいけないと思いました。知っているだけじゃなくてどこにあるかも分からなくてはいけないと思いました。土砂災害の防止対策には砂を防止するのが一番被害が小さくていいんじゃないかと思うので砂防えん堤を被害が出そうな場所などに設置すればいいと思います。少しでも土砂災害の被害が小さくなればいいと思いました。砂防というのは海岸や河川、山地などの、土砂くずれをふせぐことです。なので、砂防えん堤は海岸や河川や山地や砂がくずれてきそうなところに設置しなければいけないと思いました。他に土砂くずれを防止するものには、砂防林や砂防ダムなどがあります。砂防林は林の中の土砂くずれを防止する物です。林もけっこう土砂災害はあると

思います。ななめになっているので、とても注意しなければいけないと思いました。砂防ダムは川などを通して大量の土砂が流れ混ざったのを湖や海に流さないようにするためにある物です。湖や海などに流れこんでしまうと、水かさが増し、泳いでいる人がおぼれてしまったりする危険性があると思います。他には物などでたよらずに、自分たちでも防止することができるのではないかと思います。それは、雨が降る確率があるときには、海や海岸や河川や山地や砂くずれが予想される場所にはできるだけ行かないようにすることが防止するためにいいと思います。その他には、海や河川や山地や土砂くずれがありそうな場所に住んでいる人は、その場所などに近づかないようにすることとすぐにくずれそうな所を見つけたら、かためたり専門の人にやってもらったりすることが防止にもなるんじゃないかと思いました。

防止対策を考えて行動するだけでなく、どのような前ぶれがあると土砂災害になるのかが知りたくて土砂災害にあった人たちの様子などをニュースでやっていたので、見ました。雨が降った次の日や土が弱いところが主に土砂災害が起こっていました。このような条件のとき工事をすると危ないです。中継先のアナウンサーが、「行方不明者がいますが、今のところまだ、見つかっていないもようです。」

と、言っていました。それを聞いて私は土の中にうまってしまうと見つけれられるまで、時間がかかってしまうんだなあと思いました。その後アナウンサーが、「懸命に捜索を続けています。」

と、言っていました。一生懸命に他の人の命を救おうとしているのを見て、すごいなあ人は他人のためにここまで必死になれるんだなあと思って感動して見ていました。人のためにがんばれると自分にもおんがえしがくるんじゃないかと思っています。なので、私も他人のために必死になんでもできるようなそんな人になりたいと思いました。

土砂災害は起こってはしく思っている人ははいはいはずです。誰もが起こらないでほしいと願っています。そのためにも防止対策を行わなくてはいけないと思っています。すこしでも被害が減ると悲しい思いをする人も減ると思います。

私はどしゃの防止対策を考えるのを通して、いろんな人たちのがんばりやすごさを感じることができて、良い機会になりました。

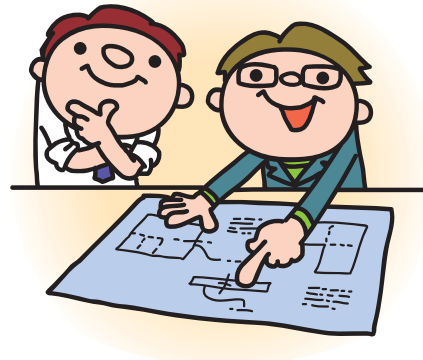
# 「ふるさと安全たんけんスクール」の取り組み

## ●概要

ふるさと安全たんけんスクールとは、小学生を対象として実施している砂防教室であり、平成15年度から福島県砂防ボランティア協会と県建設事務所が合同で、現在までに延べ20校で開催しています。この砂防教室は、土砂災害の概要について理解してもらうとともに、土砂災害による被害を最小限にするためにはどのようにすればよいかについて考え学んでもらうことを目的としています。

## ●平成20年度の開催状況

- (1)日 時 平成20年6月20日(金)10:00～11:40
- (2)場 所 金山町生活体験館及び工事現場
- (3)対象者 金山町立金山小学校5・6年生22名  
金山町立横田小学校5・6年生 9名



## ●主な内容

### (1)土砂災害のビデオ(土砂ものがたり)上映

土石流の発生現象と砂防事業の概要について説明。

### (2)土砂災害のお話し

「土砂災害の恐ろしさ」や「土砂災害を防ぐ仕事」、「日ごろから注意すべき自然現象」について講義。

講師:福島県砂防ボランティア協会 須佐 二郎氏

### (3)現地調査等

- ・平成19年2月に発生した牛兵衛沢の土砂災害防止工事の見学。
- ・土石流・地すべりの模型実験等の実施。



福島県ボランティア協会員による土砂災害の説明



土石流・地すべりの模型実験



牛兵衛沢の工事現場見学

「ふるさと安全たんけんスクール」の開催を希望される小学校は、福島県土木部砂防課または各建設事務所へ申し込んでください。

## 砂防ボランティア協会とは?

砂防に精通した方々によるボランティア組織で、「ふるさと安全たんけんスクール」講師の他、砂防施設等点検調査、土砂災害防災訓練への協力などの活動を行っています。

# 全国治水砂防促進大会が実施されました

平成20年11月27日(木)に、砂防会館別館 シェーンバッハ・サポー利根で、全国治水砂防促進大会が実施されました。大会では砂防関係事業の促進について下記のとおり提言が採択されました。

また、促進大会終了後に本県選出国会議員の方々に砂防関係事業促進を要望しました。



## 提言

今年も、既に土砂災害は六百件を超え、死者・行方不明者は二十人を数える。岩手・宮城内陸地震や、頻発するゲリラ豪雨が、その因となっている。さらに、二十万箇所を数える土砂災害危険箇所が八割近くがまだ整備されていない厳しい実情が、状況を深刻にしている。

毎年繰り返し返されるこのような悲惨な現実を一刻も早く打破するために、国は、地方公共団体と連携しつつ、砂防関係事業を核として、安全で活力ある地域づくりを実施する必要がある。

私たちは、自ら土砂災害による被害を防止・軽減するために全力を尽くすものであるが、国民の生命・財産を土砂災害から守り、もって地域の発展に寄与する砂防関係事業の実現を目指して、左記に示す提言を行うものである。

## 記

一 気候変化等による災害リスクの増大に対応しつつ、土砂災害による死者ゼロを  
目指し、地震や台風・集中豪雨に起因する大規模な土砂災害対策や火山噴  
火緊急減災対策等を推進するとともに、国民の安全・安心、生活や経済活動  
の基盤を支える国土の保全を図るため、土砂流出の著しい荒廃流域での砂防  
事業を推進すること。

一 土砂災害防止法に基づく土砂災害警戒区域・特別警戒区域の指  
定を促進し、安全な土地利用を推進するとともに、土砂災害警戒  
情報等、警戒避難体制の整備を強力に支援すること。

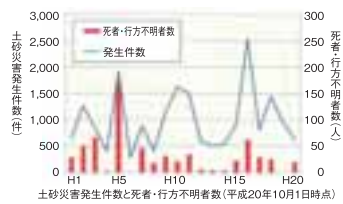
一 国土保全機能を有し、農林水産資源や水資源等の供給地域でもあ  
る中山間地を土砂災害から守り、もって地域の活性化を図るため、  
中山間地の地域防災力の向上を図ること。

一 地震や台風・集中豪雨を原因とするような大規模な土砂災害へ  
の対応として、応急対策に引き続き実施する必要がある砂防施設  
の整備を国・直轄で短期・集中的に行う直轄特定緊急砂防事業  
を創設すること。

一 主要道路や観光拠点、及び重要公共施設が集中している山形県月  
山地区において、大規模な地すべり被害を防止するため、直轄地地  
すべり対策事業に新規着手すること。

平成二十年十一月二十七日

## 全国治水砂防促進大会



# 編 集 後 記

「砂防ふくしま(第20号)」をお届けします。  
「土砂災害防止」に関する絵画・ポスター・作文コンクールで受賞されたみなさま、おめでとうございます。学習指導要領等に土砂災害防止教育に関する記載が充実されることとなり、近い将来、小中学校の教科書に掲載されます。今後とも、会員の皆様とともに土砂災害防止に努めてまいりますのでよろしくお願い申し上げます。